

比例票68万票 10%以上の獲得、もとむら議席の絶対確保、すやま候補の勝利と議席以上の実現を

日本共産党国会議員団 東海ブロックニュース

2023年 11月24日 第17号

日本共産党国会議員団東海ブロック事務所
名古屋市中区新栄三丁目十二番二十五号
電話 〇五二(二六四)〇八三三
FAX 〇五二(二六四)〇八五〇
Eメール tokahlc@yhb.ne.jp

ブロックいっせい宣伝134カ所、464人参加

東海4県の日本共産党は20日、いっせい宣伝に取り組み、4県で134カ所、179支部、464人が参加、議員・候補者79人が参加しました。

●すやま初美比例候補は名古屋市の金山駅前で訴え。イスラエルによるガザ攻撃を批判し、党が「即時停戦の呼びかけ」の声明を国際機関や各国政府に送り、対話して

いること語りました。また東アジアで進む平和外交や党の経済再生プランを紹介し、希望が持てる世界と日本について訴えました。
●三重県では山本りか2区候補や地方議員を先頭に訴えました。
●静岡中部地区では焼津市をはじめ5自治体で実施しました。
●岐阜・中津川市、恵那市ではスタンディングに取り組みました。



井上哲士参院議員は14日、内閣委員会で質問に立ち、保育士の配置基準の改善と賃金の抜本的引き上げを求めました。

井上議員は、「保育士の配置基準改善について、政府は『保育士が確保できず現場が混乱するので加算で』としているが、現場では配置基準の1・5倍の保育士が配置されている」と追及。これに対し、加藤鮎子こども政策担当相も「配置状況は承知している」と答弁しました。

井上氏は、「基準を改善する年度を決め、処遇改善を進めながら保育士を確保すれば問題ない」と迫りました。

また、井上氏は賃金について、月9千円の上乗せが全産業平均との月五万円の賃金格差の抜本是正になっておらず、▼大半が手当で支給され基本給の引上げにつながっていない▼公立では地方交付税で措置されるため賃



上げにつながらない▼処遇改善等加算Iが勤続12年で頭打ちになり、それ以降は賃金

各地でいっせいもとむら、すやま、井上議員成功へ

党勢拡大・世代的継承の大運動の成功へ

▼もとむら伸子衆院議員は18日、桑名市のつどいで話しました。党外の人を含む15人が参加しました。

もとむら議員は統一協会と関係が深い副大臣の問題を追及したことを報告し「すでに岸田改造内閣の2か月で3人の副大臣・政務官が辞めている。どこが『適材適所』なのか」と批判しました。参加者からは「ガザへの攻撃をどうすれば止められるか」などの質問が出され、「世論で変えていくしかない」と語りました。19日は、中村区の「求む同志の集い」に参加し、参加者に入党を訴えました。

▼すやま初美比例候補は19日、静岡県富士市の「女性たちのカフェ」に参加し、入党に至る思いなどの自己紹介の後、20人ほどの参加者と交流しました。参加者から「若い世代は自己責任で政治に声を上げることができない」と発言があり、すやま候補は「国内外でストライ

キが増えている、民青のシール投票を通じた対話で多くの若者が仲間になり、変化していると感じている」と語りました。
23日は、愛知の尾北地区で党員拡大を飛躍させようと、終日、活動しました。入党を働きかけたものの入党には至りませんでした。何人かの方に赤旗を購読してもらいました。地区内の岩倉市や犬山市で入党者を迎えました。
25日は、中川区の党勢拡大の集い、26日は、岐阜県中津川市で党を語る集いに参加します。
▼井上哲士参院議員は18日、名古屋熱田区の「求む同志の集い」に参加、物価高騰対策、ガザ侵攻をどうやってやめさせる、なぜ入党したのか、周りの党員は忙しそうではない、26日は、岐阜県中津川市で私に無理では、などの質問に答えました。その後の入党懇談会で「日本共産党は当たり前のことを言っている」という女性に「当たり前が通らない社会を変えるためには日本共産党が大きくなる必要があります。ご一緒に」と呼びかけました。

が下がるなどの問題点を指摘。加藤担当相は「全産業平均に比べ低い状況」と認めましたが、格差の抜本改善には言及しませんでした。

保育現場の賃上げにつながっていない問題では、こども家庭庁の藤原朋子成育局長は「内容をまとめ速やかに公表する」と述べました。

愛知県第2次全県キャラバン

もとむら伸子衆院議員

25日(土) 一宮市
10時30分 テラスウォーク一宮
11時15分 カネスエ八幡KD2